

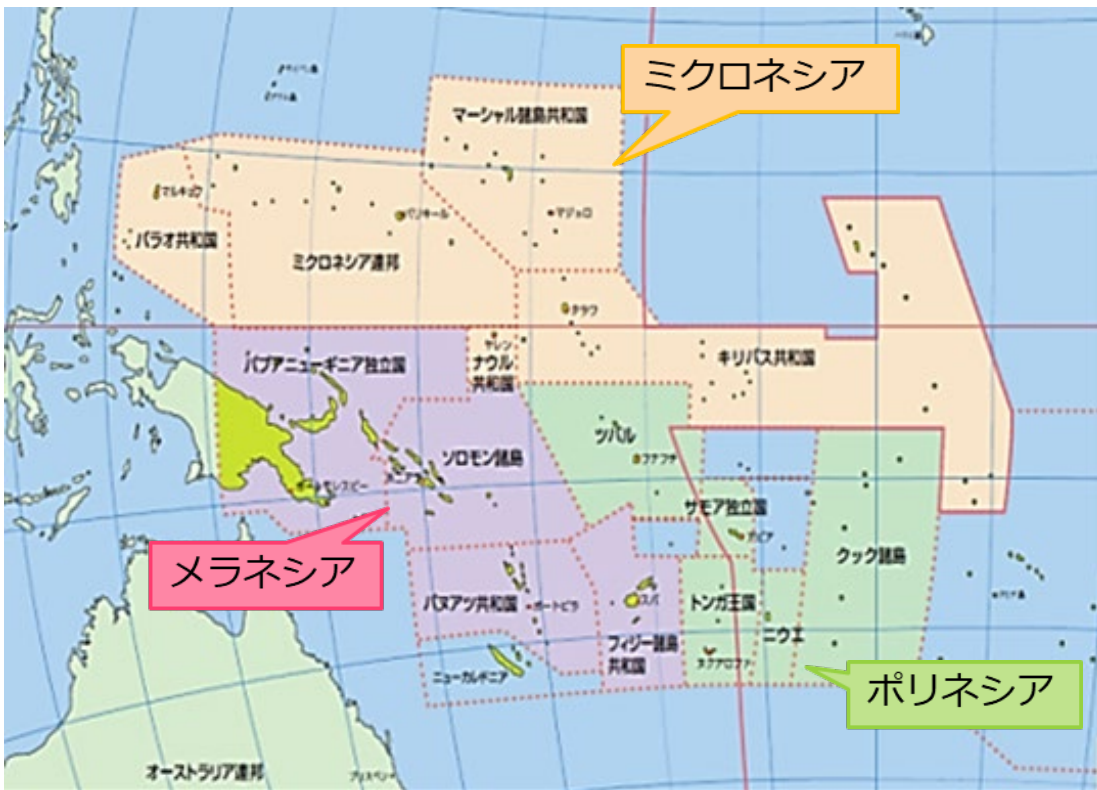


# キリバス共和国における JICAの取り組みと課題

JICAフィジー事務所  
キリバス・フィールドオフィス

# 目次

1. キリバスについて
2. キリバスの開発状況と開発計画
3. JICAの取り組み
4. キリバスでの今後の事業展開と課題



歳入：入漁料、歳入調整基金、仕送り、グラント  
 輸出品：魚、コブラ、塩、労働者？  
 タラワへの人口流入圧力と環境負荷（海水汚染、海岸浸食）  
 気候変動への脆弱性（海面上昇、海岸浸食）  
 忘れられた熱帯病を含む感染症（結核、ハンセン病）、生活習慣病と栄養失調  
 高い大学進学率と就職難、英語より算数



## キリバス共和国

👤 11.9万人  
 💰 2,960USDドル

首都：タラワ  
 面積：730km<sup>2</sup>  
 言語：キリバス語、英語  
 主要産業：漁業、農業（コブラ）

33の環礁から成る赤道直下の国。国境線に沿って日付変更線が引かれており、東端のカロリン島（ミレニアム島）は世界で最も早く1日が始まる。

### クリスマス島の自然が育む「天日塩」

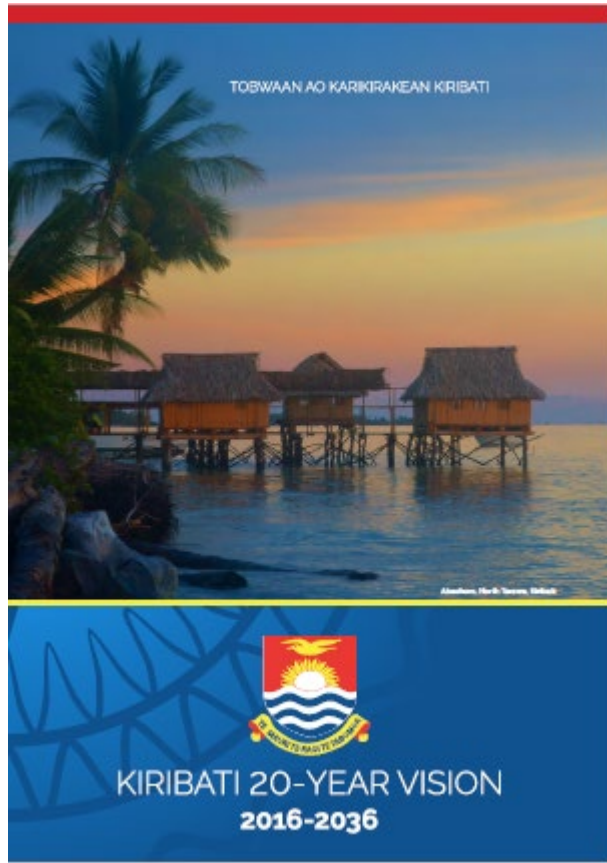


サンゴ礁でできた島として世界最大クラスの大きさを誇るクリスマス島では、世界的にも珍しい天日塩が人気。塩田に海水をくみ上げ、太陽光と強風で乾燥させて作る。日本でも購入可能。



# キリバスの開発状況と開発計画

## KV20



四つの柱  
豊かさ (Wealth)  
平和と安全 (Peace & Security)  
インフラ開発 (Infrastructure)  
ガバナンス (Governance)

## KDP 2020-2023



### 重点分野

- ① 人的富の利用
- ② 経済的富の成長と誰も取り残さないこと
- ③ 健康の改善
- ④ 環境保護とレジリエンス強化
- ⑤ 良いガバナンス
- ⑥ インフラ開発

# キリバスでの**JICA**事業



気候変動対策  
プログラム



社会サービス向  
上プログラム



インフラ整備・  
維持管理能力強  
化プログラム

無償資金協力	技術協力	ボランティア	研修員受入
261.72億円 (2020年まで)	50.12億円 (2020年まで)	59人 (2021年まで)	678人 (2021年まで)

# キリバスでのJICA事業

## ①気候変動対策プログラム

- a) 気候変動に対する強靱性強化のための大洋州人材能力向上プロジェクト
- b) 大洋州地域ハイブリッド発電システム導入プロジェクト（23年6月終了）
- c) 広域防災アドバイザー（広域専門家）
- d) フィジー気象局による大洋州における持続的気象サービスの能力強化（第三国研修）

## ②社会サービスの向上プログラム

- a) 大洋州広域フィラリア対策プロジェクト（23年2月終了）
- b) 課題別研修「生活習慣病予防対策」に対するFU協力（22年8月供与、完了報告）
- c) 大洋州地域強靱な保健システム構築のための連携強化プロジェクト（23年11月ごろ派遣開始）

## ③インフラ整備維持管理能力強化プログラム

- a) 港湾運営・維持管理アドバイザー（広域専門家）
- b) 太平洋島嶼国のSDG14「海の豊かさを守ろう」プロジェクト
- c) 船舶運営・維持管理アドバイザー（広域専門家）

\* 各分野に課題別研修等の受入れ、ボランティアの派遣（2024年再開予定）



# 気候変動対策プログラム



離島からの人口流入によって南タラワの人口は毎年7%増えている。生活排水により海水は汚染されており、サンゴなどの生態系に影響。海岸浸食などの一因に。塩害、排水問題、入手可能な材料、技術レベルなどにより、護岸も含むインフラ整備、開発計画も課題。



災害への強靱性に配慮したインフラの構築。自然環境、インフラ、土地利用の状況などを考慮した開発計画も検討中。

廃棄物管理はキリバスでも課題。特にプラスチックなどの非後進性廃棄物は問題。一方、人々は護岸壁を作ってごみを埋め立て土地を増やしてきた。あとで護岸壁を作ろうと庭先にためたゴミは波に流されて海を汚染している。



J-PRISM 1 で協力。研修、環境教育ボランティアの派遣、帰国研修員同窓会活動でのクリーンアップ



化石燃料への依存から脱却するために再生可能エネルギーの導入が盛んに。しかし、過渡期のディーゼル発電機の最適運用、維持管理、また、太陽光発電中心の再生可能エネルギー源で、系統安定化のための仕組みや維持管理は重要。



ハイブリッド発電システム導入計画（2016-2023）で既存のディーゼル発電を活用しながら円滑に再生可能エネルギー導入拡大のための支援



# 社会サービスの向上



○ 看護師 ○○ PCインストラクター ○○○ 歯科衛生士 ○○○ 助産師 ○○○○ コンピュータ技術



96年中等教育施設整備計画 (6.1億円)



2022年フォローアップ 生活習慣病対策巡回車両供与



89-90年ツンガル中央病院建設計画 (14.1億円I,II期)

大洋州広域 強靱な保健システムの構築 (母子保健・栄養) プロジェクト  
2023~2027



# インフラ整備・維持管理能力強化プログラム



E/N締結	案件名	金額
1985	漁船水路・島嶼連絡路建設計画(Nippon Causeway)	11.3億円
1989-90	トゥンガル総合病院改修計画	14.1億円
1991	多目的貨客船建造計画 (MV Matangari)	11.8億円
1996	中等教育施設整備計画 (KGV)	6.1億円
1996-2000	ベシオ港整備計画	24.0億円
2001	タラワ環礁電力供給施設整備計画	12.3億円
2004	第二次タラワ環礁電力供給施設整備計画	7.7億円
2004	クリスマス島沿岸漁業振興計画	7.4億円
2004-2005	ベシオ港修復計画	8.3億円
2006	南タラワ水産業関連道路整備計画	12.9億円
2010-11	ベシオ港拡張計画	31.0億円
2016	ニッポンコースウェイ改修計画	38.05億円

# Challenge & Way Forward

可能性

課題

- ・ 外国での雇用促進政策⇔人材流出
- ・ 小さすぎる市場⇔SIDSでの展開
- ・ 裨益人口の小ささ⇔少額の投入で効果
- ・ 借入禁止の政策⇔中国との良好な関係
- ・ 入漁料収入依存リスク⇔良好な歳入
- ・ やせた土地⇔豊かな海
- ・ NCDの蔓延⇔乳幼児の栄養失調
- ・ 粗放な廃棄物管理⇔安全な海面埋立
- ・ 災害への脆弱性（干ばつ・高波高潮）⇔大型上下水プロジェクト
- ・ 化石エネルギーへの依存⇔再生可能エネルギーの拡大と脆弱性
- ・ インフラの必要性⇔維持管理

遠隔性（高い、遅い、ない）

高学歴人材

人材層が薄い

クリスマス島

理解しがたい沈黙・トラブル





Kam bati n rabwa  
ありがとうございました

